



AfterMuseum ~ 樹そして洞窟 ~

それは街にそびえ立つ

それは誰か、なにかにとっての拠り所となるかもしれない

課題文に対して

人は動く

それは地面から始まり空にも地中にも広がった。

そして、それは多くの建築に依存してきた。

となると建築は人にとっての交点、通り道で有るべきではないだろうか

提案

芸術、これが持つ力は果てしない。

人間の持つアイデンティティの一つと言っても相異なるのではないか。

建築の側面から見て美術館はその品々のための器だ。

だがそれに求められるものは主役である芸術品を害することのない白い空間とそのための機能のように感じられる。その空間では建築と芸術品の評価は別だ。美術館では作品を観るとき、私たちは本などで得た、知識としての作品を観て、体験する。だがそれらが完成するまでのプロセスまでを体験することはできない。

それを真に体験したと言っていいのだろうか。そこで私達は建築と芸術が等しくなるようなプログラムを構想することにした。

芸術家がこの集合住宅に住み、作品を作り、その後その部屋全体がその作家の作品となり開放される。

